

高橋 克壽 教授

研究業績

2026年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書(単)	『円山古墳群発掘調査概要』、大阪府教育委員会、1～11頁	1991. 3
著書(共)	『萱振遺跡』（『大阪府文化財調査報告書』第39輯）、1～414頁	1992. 3
著書(共)	『塑像出土古代寺院の総合的研究』（平成3年度科学研究費補助金（総合A）研究成果報告書）、1～49頁	1993. 3
著書(共)	『宮山1号墳調査報告書』、野洲町教育委員会、1～58頁	1993. 3
著書(共)	『紫金山古墳と石山古墳』（『京都大学文学部博物館図録』6）、1～131頁	1994. 4
著書(共)	『琵琶湖周辺の6世紀を探る』（平成6年度科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書）、1～121頁	1995. 3
著書(単)	『埴輪の世紀』（『歴史発掘』9）、講談社、1～180頁	1996. 3
著書(共)	『行者塚古墳発掘調査概報』（『加古川市文化財調査報告書』15）、1～110頁	1997. 3
著書(共)	『王者の武装』（『京都大学総合博物館春季企画展展示図録』）、1～135頁	1997. 4
著書(共)	『前波の三ツ塚』（『可児市埋文報告』34）、1～266頁	1999. 3
著書(共)	『史跡頭塔発掘調査報告』（『奈良国立文化財研究所学報』第62冊）、1～210頁	2000. 2
著書(共)	『法隆寺考古資料』（『奈良文化財研究所史料』第56冊）、1～29頁	2002. 2
著書(共)	『埴輪スペシャル』、可児市郷土歴史館、1～81頁	2002. 9
著書(共)	『鞏義黄冶唐三彩』（『奈良文化財研究所史料』第61冊）、1～114頁	2003. 2
著書(単)	『墳墓副葬品から見た古代日韓交流』（平成13～15年度科学研究費補助金基盤研究（C）（2）成果報告書）、1～112頁	2004. 3
著書(共)	『石山古墳』（『第24回三重県埋蔵文化財展図録』）、三重県埋蔵文化財センター、1～93頁	2005. 3
著書(共)	『奈良山発掘調査報告I』（『奈良文化財研究所学報』第72冊）、1～163頁	2005. 3

著書(単)	『金工技術から見た倭王権と古代東アジア』(平成16~18年度科学研究費補助金(基盤研究(C))成果報告書)、1~40頁	2007. 3
著書(共)	『法隆寺若草伽藍跡発掘調査報告』(『奈良文化財研究所学報』第76冊)、1~253頁	2008. 3
著書(共)	『特別史跡キトラ古墳発掘調査報告』、文化庁ほか、1~101頁	2008. 3
著書(編)	『京を掘る—今解き明かす平安貴族のくらし—』、花園大学歴史博物館平成20年度秋季企画展図録、1~16頁	2008. 10
著書(共)	『平安京右京二条三坊八町』(『花園大学構内調査報告』VII)岡島俊也編、花園大学考古学研究室	2010. 3
著書(共)	『発掘調査のてびき』文化庁文化財部記念物課・独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所編、文化庁文化財部記念物課	2010. 3
著書(共)	「西大久手古墳・志段味大塚の形象埴輪」『埋蔵文化財調査報告書』62 志段味古墳群、名古屋市教育委員会、375~378頁	2011. 3
著書(共)	「一夜塚古墳の埴輪と被葬者像」『一夜塚古墳出土遺物調査報告書』、朝霞市教育委員会、89~94頁	2011. 3
著書(共)	「公開討論会 大日山35号墳の埴輪を考える」の記録『大王の埴輪 紀氏の埴輪』平成23年度和歌山県立紀伊風土記の丘開館40周年記念特別展図録、59~65頁	2011. 10
著書(共)	「形象埴輪と葬送祭祀」『古墳時代の考古学』3 墳墓構造と葬送祭祀、216~226頁	2011. 10
著書(共)	「研究の流れ：戦後」『古墳時代の考古学』1 古墳時代史の枠組み、21~33頁	2011. 12
著書(共)	「播磨の大型古墳と畿内政権」『大型古墳から見た播磨』、第12回播磨考古学研究集会実行委員会、43~52頁	2012. 2
著書(共)	「丹後の埴輪—前期の埴輪を中心に—」『丹後二大古墳と古代タニワ』、32~54頁	2012. 3
著書(共)	「埴輪」『講座日本の考古学』8、青木書店、237~269頁	2012. 5
著書(分担執筆)	『前期古墳の変化と画期 古墳時代集落研究の再検討』、考古学研究会例会シンポジウム8	2012. 7
著書(単)	『古墳時代における若狭地域の対外交渉』平成22~25年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書	2014. 3
著書(単)	「人物埴輪の登場と大和政権」『倭の五王と出雲の豪族』132~133頁、島根県立古代出雲歴史博物館	2014. 7
著書(共)	『若狭向山1号墳』、1~269頁	2015. 3
著書(単)	「埴輪の編年と配置の意義」『甲立古墳—発掘調査報告書—』、	2015. 3

	89～95 頁	
著 書 (単)	「人物埴輪の創出と古墳祭祀」『前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究』(島根県古代文化センター研究論集第 14 集)、102～112 頁	2015. 3
著 書 (単)	「出雲の埴輪生産」『前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究』(島根県古代文化センター研究論集第 14 集)、323～324 頁	2015. 3
著 書 (単)	『中規模古墳の動態からみた大和政権の地域支配』平成 27～30 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)研究成果報告書	2019. 3
著 書 (単)	「埴輪が結ぶ出雲と大和」『古代出雲ゼミナール』Ⅶ(古代文化連続講座記録集)、143～174 頁	2021. 2
著 書 (単)	「安養寺古墳群を解き明かす」『5 世紀近江の盟主 椿山古墳の実像に迫る』85～116 頁、サンライズ出版	2021. 3
著 書 (単)	『古墳における湛水状態の周濠内情報の収集に関する研究』令和元～四年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)研究成果報告書、花園大学	2023. 3
著 書 (単)	「埴輪研究の動向に今思うこと」『埴輪論叢』第一二号、埴輪検討会	2023. 6
著 書 (単)	「埴輪の生産体制論」『埴輪生産からみた地域社会の展開』古代学研究会	2023. 9
著 書 (単)	「日本海三大古墳が丹後に築かれた意味」『京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書』令和四年度(丹後編)、京都府立京都学・歴史館	2023. 9
著 書 (単)	「小像付き須恵器と形象埴輪」『何が歴史を動かしたのか』第三巻、雄山閣	2023. 12
著 書 (単)	「日本海三大古墳が丹後に築かれた意味」『京都を学ぶ』[丹後編]、京都学研究会	2024. 3
著 書 (単)	「下松市域の古墳と天王森古墳」『下松市平成の記録』40～43 頁	2024. 11
著 書 (単)	「六呂瀬山古墳群の位置づけ」『史跡 六呂瀬山古墳群発掘調査報告書』令和 3, 4 年度調査編・総括編(坂井市埋蔵文化財発掘調査報告書第 5 集)116～127 頁	2025. 3
論 文 (単)	「器財埴輪の編年と古墳祭祀」『史林』71-2、69～104 頁	1988. 3
論 文 (単)	「若狭の埴輪と地域政権」『躍動する若狭の王者たち』、若狭歴史民俗資料館、71～78 頁	1991. 9
論 文 (単)	「西都原 171 号墳の埴輪」『宮崎県史研究』第 7 号、39～59 頁	1993. 3
論 文 (単)	「冑か冠か一椿井大塚山古墳の鉄製品」『史林』76-2、135～138 頁	1993. 3

論文(単)	「京都府椿井大塚山古墳出土的鉄製品」『考古及文物』1994-1、89～91 頁	1994. 1
論文(単)	「埴輪生産の展開」『考古学研究』41-2、27～48 頁	1994. 9
論文(単)	「古墳の造営主体」『別冊歴史読本最前線シリーズ 日本古代史王権の最前線』、86～92 頁	1997. 1
論文(単)	「三大古墳と埴輪」『日本海三大古墳がなぜ丹後につくられたのか』、加悦町教育委員会、57～68 頁	1997. 3
論文(単)	「墓域の護り」『奈良国立文化財研究所学報』第 57 冊、137～156 頁	1998. 12
論文(単)	「埴輪と古墳の祭り」『古代史の論点』5、小学館、143～166 頁	1999. 3
論文(単)	「人物埴輪の出現とその意味」『はにわ人は語る』、山川出版社、41～60 頁	1999. 4
論文(共)	「第一次大極殿院地区の調査」『奈良国立文化財研究所年報』2000-Ⅲ、14～23 頁	2000. 9
論文(単)	「畿内から見た吉備の埴輪」『国家形成過程の諸変革』、考古学研究会例会委員会、137～156 頁	2000. 11
論文(単)	「墳墓副葬品から見た日韓交渉の変化と日本古墳時代の開始」『東アジアの 1～3 世紀の住居と古墳』、韓国国立文化財研究所、37～90 頁	2001. 11
論文(単)	「埴輪からみた津堂城山古墳」『藤井寺の遺跡ガイドブック』12、藤井寺市教育委員会、45～68 頁	2002. 3
論文(共)	「福井県上中町向山 1 号墳から出土した金製垂飾付耳飾の材質と製作技術」『日本文化財科学会第 19 回大会研究発表要旨集』、70～71 頁	2002. 7
論文(単)	「古墳の葺石」『文化財論叢Ⅲ』(『奈良文化財研究所学報』第 65 冊)、55～73 頁	2002. 12
論文(単)	「5 世紀の日韓交流と九州」『古代日韓交流の考古学的研究— 葬制の比較研究— 平成 11 年度～13 年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(1)) 研究成果報告書』、41～57 頁	2003. 3
論文(共)	「興福寺一乗院跡の調査」『奈良文化財研究所紀要 2003』、162～167 頁	2003. 6
論文(単)	「埴輪まつりのうつりかわりと今城塚古墳」『発掘された埴輪群と今城塚古墳』、56～64 頁	2004. 3
論文(単)	「埴輪の成立と展開」『畿内の巨大古墳とその時代 季刊考古学』別冊 14、65～76 頁	2004. 12
論文(単)	「埴輪一場から群像に迫る」『列島の古代史 5 専門技能と技』	2006. 2

	術』、岩波書店、287～305 頁	
論文(単)	「日本出土金銅製透彫冠・履の系譜」『鹿園雑集』9(奈良国立博物館研究紀要)、奈良国立博物館、75～84 頁	2007. 3
論文(単)	「韓国巨濟長木古墳の石室と若狭の初期横穴式石室」『渡来遺物からみた古代日韓交流の考古学的研究—平成15～17年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(1))研究成果報告書』、49～57 頁	2007. 3
論文(単)	「対外交渉の変化から見た古墳時代」『花園史学』第28号、1～30 頁	2007. 11
論文(単)	「王権と埴輪生産」『埴輪群像の考古学』、青木書店、101～135 頁	2008. 1
論文(単)	「家・器財埴輪から知る墳丘の思想」『埴輪の風景』考古学リーダー13、95～108 頁	2008. 2
論文(単)	「特輯『王陵系埴輪の地域波及と展開』に寄せて」『古代文化』第59巻第4号、81～83 頁	2008. 3
論文(単)	「若狭地方の古代—埴輪と副葬品の系譜を中心に—」『若狭の古墳時代』若桜町歴史シンポジウム記録集、20～35 頁	2008. 3
論文(単)	「水鳥形埴輪と古墳のまつり」『巨大古墳の時代をめぐって』藤井寺の遺跡ガイドブック、33～60 頁	2008. 3
論文(単)	「平安京右京二条三坊八町の祭祀土坑」(図版解説)花園大学考古学研究室『古代文化』第60巻第1号、169・170 頁	2008. 6
論文(単)	「埴輪の窓—円筒埴輪の透かし孔—」『花園史学』第29号、65～72 頁	2008. 11
論文(単)	「平城宮大極殿礎石考」『平城宮第一次大極殿の復元に関する研究』(奈良文化財研究所学報第79冊)、27～36 頁	2009. 2
論文(単)	「五世紀後半の倭王権と帆立貝式古墳」『花園大学考古学研究論叢』Ⅱ、74～85 頁	2009. 3
論文(単)	「前期古墳編年の課題」『前期古墳の変化と画期』考古学研究会関西例会第160回シンポジウム、5～10 頁	2009. 10
論文(単)	「石のカラト古墳」『考古学ジャーナル』第592号、5～9 頁	2009. 11
論文(単)	「形象埴輪」『東大寺山古墳の研究』小田木治太郎・藤原郁代編、東大寺山古墳研究会・天理大学・天理大学附属天理参考館、234～246 頁	2010. 3
論文(単)	「東大寺山古墳の粘土槨」『東大寺山古墳の研究』小田木治太郎・藤原郁代編、東大寺山古墳研究会・天理大学・天理大学附属天理参考館、309～314 頁	2010. 3
論文(単)	「山陰の古墳時代前期埴輪の特質」『遠古登攀』、『遠古登攀』	2010. 6

	刊行会、375～387 頁	
論文(単)	「東大寺山古墳の埴輪」『よみがえるヤマトの王墓—東大寺山古墳と謎の鉄刀—』天理大学附属天理参考館考古美術室編、天理大学附属天理参考館、78～81 頁	2010. 9
論文(単)	「粘土槨の出現」『坪井清足先生卒寿記念論文集—埋文行政と研究のはざままで—』下巻、825～834 頁	2010. 11
論文(単)	「京都・妙心寺金牛院敷地」『木簡研究』第 32 号、17～19 頁	2010. 11
論文(単)	「考古学を教える」『花園大学人権教育研究センター報』第 18 号、136～139 頁	2010. 12
論文(単)	「遺跡探査と私—古墳研究者の記憶—」『文化財と探査』Vol. 12 No. 1・2、107～113 頁	2010. 12
論文(単)	「西大久手古墳・志段味大塚古墳の形象埴輪」『埋蔵文化財調査報告書』62、名古屋市教育委員会、375～378 頁	2011. 3
論文(単)	「一夜塚古墳の埴輪と被葬者像」『一夜塚古墳出土遺物調査報告書』、朝霞市教育委員会、89～94 頁	2011. 3
論文(共)	「公開討論会 大日山 35 号墳の埴輪を考える」の記録『大王の埴輪 紀氏の埴輪』、59～65 頁	2011. 10
論文(単)	「形象埴輪と葬送祭祀」『古墳時代の考古学』3、同成社、216～226 頁	2011. 10
論文(単)	「研究の流れ：戦後」『古墳時代の考古学』1、同成社、21～33 頁	2011. 12
論文(単)	「播磨の大型古墳と畿内政権」『大型古墳からみた播磨』、43～52 頁	2012. 2
論文(単)	「丹後の埴輪—前期の埴輪を中心に—」『丹後二大古墳とタニワ』、32～54 頁	2012. 3
論文(単)	「埴輪」『講座日本の考古学』、青木書店、237～269 頁	2012. 5
論文(単)	「護る埴輪から見る埴輪へ」『巨大古墳あらわる～履中天皇古墳を考える』堺市文化観光局文化部文化財課、75～106 頁	2015. 2
論文(単)	「人物埴輪の創出と古墳祭祀」『前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究』、102～112 頁	2015. 3
論文 (分担執筆)	『前期古墳の変化と画期 古墳時代集落研究の再検討』考古学研究会編、1～232 頁	2012. 7
論文(単)	「若狭における横穴式石室の受容と展開—閉塞構造と追葬を中心に—」『技術と交流の考古学』、同成社、548～557 頁	2013. 1
論文 (分担執筆)	『発掘調査のてびき』各種遺跡調査編、奈良文化財研究所編、文化庁、1～409 頁	2013. 3

論文 (分担執筆)	「今城塚古墳 古墳の改革者 大王継体の陵墓に並ぶ埴輪群」『週刊新発見！日本の歴史』9号、8～9頁	2013. 9
論文 (分担執筆)	『古墳時代における若狭地域の対外交渉』、1～100頁	2014. 3
論文(単)	「埴輪に捧げられた祈り」『古墳時代美術図鑑』別冊太陽 日本 のこころ246、96～99頁	2017. 1
論文(単)	「家形埴輪と器財埴輪」『古墳時代美術図鑑』別冊太陽 日本 のこころ246、104～109頁	2017. 1
論文(単)	「埴輪からみた丹波の方墳」『平成28年度 京都府域の文化 資源に関する共同研究会報告書』丹波編、25～58頁	2017. 9
論文(単)	「寄棟造家形埴輪の研究」『古代文化』第69巻第2号、65～86 頁	2017. 9
論文(単)	「若狭徹著『前方後円墳と東国社会』」『古代文化』第69巻 第3号、142～144頁	2017.12
論文(単)	「人物埴輪論の見直し」『花園大学考古学 学研究論叢』Ⅲ	2017. 3
論文(単)	「富山平野の古墳について」『富山市考古資料館紀要』第37号 富山市考古資料館 13～25頁	2018. 3
論文(単)	「丹波の方墳と坊主塚古墳の盾持人形埴輪」『京都を学ぶ』、丹波 編	2018. 3
論文(単)	「雄略天皇時代の丹後の古墳」『旦波』第1号、丹波の文化を 伝承する会	2018. 3
論文(単)	「ニサンザイ古墳の土と木の埴輪」『百舌鳥最後の大王墓を探る —ここまでわかるニサンザイ古墳—』	2019. 2
論文(単)	「高床式入母屋造家形埴輪の研究」『京都学研究と文化史の視 座』芳井敬郎名誉教授古稀記念	2019. 3
論文(単)	「『初期農耕活動と近畿の弥生社会』に 学ぶ弥生時代研究の新 展開」『古代文化』第71巻第3号	2019. 12
論文(単)	辻田淳一郎著『鏡の古代史』『古代文化』第72巻第2号、114～116 頁	2020. 9
論文(単)	『花園大学博物館学芸員課程報告』創刊号(編集)	2020. 3
論文(単)	「奈良県ウワナベ古墳周濠内部の探査」『日本文化財科学会第三 七回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会	2020. 9
論文(単)	「ウワナベ古墳調査「限定公開」参加記」『古代文化』第73巻第1 号、107～111頁	2021. 6
論文(単)	「古墳時代中期前葉の円筒埴輪と六呂瀬山3号墳の埴輪」『国史 跡六呂瀬山墳群』	2022. 3

論文(単)	「奈良県島の山古墳周濠内部の探査」『日本文化財科学会第三九回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会	2022. 9
論文(単)	「山口県下松市惣ヶ迫古墳の再検討」『古代文化』第74巻第2号	2022. 9
論文(単)	「形象埴輪論」『日本考古学の論点』下	2024. 6
論文(単)	書評「若狭徹・埼玉県立さきたま史跡の博物館編『継体大王と地方豪族—古墳から探る六世紀の日本』」『古代文化』第77巻第2号	2025. 9
論文(単)	「荒蒔古墳の形象埴輪—葬具になったはにわ人」『“穂積”の地の古墳を探る～星塚古墳・小路遺跡と荒蒔古墳～』	2025. 11
講演(単)	「文化財保護のこれから」、花園大学考古学研究室総会	2007. 6
講演(単)	「考古学が明かす歴史最前線」、大学コンソーシアム京都 京都の大学『学びフォーラム 2007』	2007. 10
講演(単)	「志段味大塚古墳と五世紀後半の倭王権」、名古屋市教育委員会主催『国史跡白鳥塚古墳・志段味大塚古墳をめぐる歴史背景』	2007. 11
講演(単)	「埴輪の世界—恵解山古墳を中心に—」(平成20年度恵解山古墳特別講演会)、長岡京市民ホール	2008. 8
講演(単)	「五・六世紀の近江の古墳—琵琶湖と大和政権—」(高島古代史フォーラム「継体天皇と田中古墳群」)、藤樹の里文化芸術会館	2008. 11
講演(単)	「兵庫県の埴輪と古墳の整備」(兵庫県史跡協議会2008年度総会)、たつの市立埋蔵文化財センター	2008. 12
講演(単)	「四世紀の吉備—吉備の服属」(朝日カルチャーセンター芦屋「日本古代の騒乱」)	2008. 5
講演(単)	「考古学から見た騎馬民族征服王朝説」(朝日カルチャーセンター芦屋「日本古代の争乱」)	2008. 7
講演(単)	「畿内の埴輪、山陰の埴輪」但馬国府・国分寺館特別展「はにわ—但馬と山陰の古墳文化—」記念講演、日高農村環境改善センター	2009. 2
講演(単)	「埴輪研究の現状と課題—とくに山陰地方の埴輪を考えながら—」鳥取県埋蔵文化財センター「遺物調査検討過程」に関わる講演、鳥取県立県民文化会館	2009. 2
講演(単)	「弥生時代から古墳時代へ」、京都新聞カルチャーセンター	2009. 5
講演(単)	「考古学から見た2・3世紀の日韓関係」、京都新聞カルチャーセンター	2009. 6
講演(単)	「5世紀末に何が起きたか—継体登場の意味を考古学から探る—」継体朝歴史研究会、枚方市市民会館	2009. 6

講演(単)	「福井県若狭町糠塚古墳発掘調査・同小浜市丸山城址古墳測量調査現地説明会」	2009. 8
講演(単)	シンポジウム『前期古墳の変化と画期』コーディネーター、考古学研究会、大阪歴史博物館	2009. 10
講演(単)	「若狭の古墳と大和王権」、日韓古代文化研究会	2010. 6
講演(単)	「御食国若狭の誕生」、歴史を活かしたまちづくりワークショップ	2010. 9
講演(単)	「造り出しにおける古墳祭祀」、公開討論会「大日山 35 号墳の埴輪を考える」	2010. 9
講演(単)	「埴輪からみた茶すり山古墳と但馬の王墓」	2010. 10
講演(単)	「鴨稻荷山古墳と継体大王」、高島古代史フォーラムー継体天皇 1500 年の謎ー	2010. 10
講演(単)	「大王墓の埴輪と玉里舟塚古墳の埴輪」、第 48 回明治大学博物館公開講座	2010. 10
講演(単)	「播磨の大型古墳と畿内政権」、播磨考古学研究集会「大型古墳からみた播磨」	2011. 1
講演(単)	「倭の五王の東日本政策」柏原市歴史資料館平成 23 年度市民歴史大学「倭の五王の時代」、柏原市立歴史資料館研修室	2011. 9
講演(単)	「丹後の埴輪ー網野銚子山古墳の埴輪を中心にー」丹後建国 1300 年事業シンポジウム『丹後二大古墳と古代タニワー網野銚子山古墳・神明山古墳の築造に迫るー』、アミティ丹後	2011. 12
講演(単)	「出雲と埴輪ー松江市石屋古墳出土埴輪の意義ー」「速報展復元!!日本最古級の出雲の人物埴輪」講演会、古代出雲歴史博物館講義室	2012. 4
講演(単)	「志段味古墳群の登場と大和王権の東国支配」企画展「尾張氏☆志段味古墳群をとときあかす」記念講演、名古屋市博物館	2012. 4
講演(単)	「埴輪の考古学」、放送大学滋賀学習センター	2012. 6
講演(単)	「方墳から帆立貝式古墳へ」枚方市古代史友会、枚方市立樟葉生涯学習市民センター	2012. 7
講演(単)	「地下に眠る平安京を探る」キャンパスプラザ京都京カレッジ「京を極める」、キャンパスプラザ京都	2012. 10
講演(単)	「花園大学考古学研究室による若狭地域の古墳調査」第 32 回花園大学史学会大会記念講演、花園大学無聖館	2012. 11
講演(単)	「埴輪が語る古代出雲ー石屋古墳形象埴輪からの問題提起ー」島根県埋蔵文化財調査センター・島根県古代文化センター開設 20 周年記念講演会「石屋古墳とその時代 出雲の神話伝承と古墳、埴輪」、松江市市民活動センター交流ホール	2012. 12

講演(単)	「一夜塚古墳の埴輪が語る後期古墳時代の幕開け」(歴史講座「ここまでわかった!一夜塚古墳」)、朝霞市博物館講座室	2013. 1
講演(単)	「埴輪と祈り」、第6回世界遺産講演会—百舌鳥・古市古墳群の価値、世界遺産とまちづくり—	2013. 1
講演(単)	「護る埴輪から見せる埴輪へ—履中天皇陵古墳の形象埴輪—」、第4回百舌鳥古墳群講演会、堺市	2014. 2
講演(単)	「人物埴輪の登場と古墳祭祀」企画展「倭の五王と出雲の豪族」のための連続講座、於島根県立古代出雲歴史博物館講義室	2014. 7
講演(単)	「倭の五王と地域豪族—古墳造営にみる地域支配」赤穂市立有年考古館講演会、於有年公民館	2014. 8
講演(単)	「聞けば納得☆恵解山古墳のここがスゴイ!」(恵解山古墳整備記念シンポジウム) 於京都府長岡京記念文化会館	2014. 8
講演(単)	「家形埴輪から読み解く古墳祭祀」(今城塚古墳古代歴史館講演会) 於高槻市立今城塚古墳古代歴史館二階映像研修室	2014. 8
講演(単)	「埴輪から見える倭の五王の時代」(浜松市市民部文化財課)	2015. 3
講演(単)	「関東の埴輪と関西の埴輪」、平成27年度東京国立博物館連続講座「今考古学が熱い!」第6講、東京国立博物館平成館大講堂	2015. 9
講演(単)	「池田古墳みる埴輪の世界」、兵庫県立考古博物館、特別展『王墓の埴輪—池田古墳のすべて—』、同館講堂	2015. 10
講演(単)	「倭の五王を支えた山城の覇者—恵解山古墳の被葬者像」、恵解山古墳公園開園1周年記念イベント、長岡京市中央公民館ホール	2015. 10
講演(単)	「考古学者がみた人物埴輪へのまなざし」、檀原考古学研究所	2015. 11
講演(単)	「向山1号墳整理の重要所見と若狭における近年の古墳調査」、シンポジウム「向山古墳群の世界」平成27年度第4回歴史環境講座、若狭町歴史文化館	2015. 11
講演(単)	「海の古墳を考えるV」(—日本海の潟湖と古墳の動態— 北からの視点)、シンポジウム討論司会、福井市立郷土歴史博物館2階講堂	2015. 12
講演(単)	「若狭向山1号墳の報告を終えて」、平成27年度九州史学学会考古学部会、九州大学法文学系講義棟	2015. 12
講演(単)	「甲立古墳が語る激動の古墳時代」、第2回歴史講演会、安芸高田市民文化センター	2016. 3
講演(単)	「磐井を支えた諸勢力」、けやきの森市民大学「歴史講座」、高槻市生涯学習センター多目的ホール	2016. 3

講演(単)	「葺石研究最前線」はびきの市民大学、LIC羽曳野	2016. 6
講演(単)	「日本を代表する脇袋古墳群の重要性」第2回若狭町歴史環境講座(古墳文化)、若狭町瓜生公民館	2016. 9
講演(単)	「甲立古墳が語る激動の古墳時代」安芸高田市第23回歴史講演会、クリスタル・アージュ4階小ホール	2016. 9
講演(単)	『今北山古墳の謎に迫る』鯖江市教育委員会主催、鯖江市・歴史シンポジウム、パネルディスカッション進行役、鯖江市まなべの館	2016. 10
講演(単)	「富山県平野の古墳について」富山市考古資料館、富山市民俗民芸村管理センター講座室	2016. 10
講演(単)	「雄略天皇時代の丹後の古墳」丹波の文化を伝承する会主催丹後国風土記シンポジウム「豊受大神と風土記」2017年11月12日、京丹後市峰山町総合福祉センター	2017. 11
講演(単)	「京都南部の地域勢力」東近江市教育委五六員会、平成29年度歴史に親しむ講座雪野山古墳の時代シンポジウム三、四世紀の近畿と王権	2017. 11
講演(単)	「小熊山古墳・御塔山古墳の埴輪が語る両古墳の歴史的意味」杵築市教育委員会、『国指定史跡 小熊山古墳・御塔山古墳記念講演会』、きつき城下町資料館3階学習室	2017. 11
講演(単)	「ニサンザイ古墳の土と木の埴輪」第8回百舌鳥古墳群講演会『百舌鳥最後の大王墓を探る—ここまでわかるニサンザイ古墳—』、堺市産業振興センターイベントホール	2018. 2
講演(単)	「丹波地方の古墳—その特徴と謎に迫る—」第8回京都を学ぶセミナー、京都学・歴史館大ホール	2018. 12
講演(単)	「古墳の形が意味するもの—御願塚古墳を中心に—」伊丹市教育委員会第24回文化財ボランティア養成講座、伊丹市立図書館	2019. 2
講演(単)	「土師氏の埴輪生産と王権、そして地域 豪族」大阪府立近つ飛鳥博物館令和元年度夏季特別展講演会、地階ホール	2019. 9
講演(単)	「埴輪が結ぶ出雲と大和」島根県古代文化センター、平成29年度島根学講座 IN大阪	2019. 11
講演(単)	「安養寺古墳群を解き明かす」栗東市教育委員会・栗東市スポーツ協会『シンポジウム五世紀近江の盟主～椿山古墳の実像に迫る～』栗東市危機管理センター	2019. 12
講演(単)	「西塚古墳の整備に向けて」福井県若狭町歴史文化課『西塚古墳の発掘調査について』若狭町法順寺	2020. 8
講演(単)	「古墳調査報告会総括」福井県坂井市文化財保存活用地域計画策定ワークショップ、福井県坂井市鳴鹿コミュニティセンター多目	2020. 11

	的ホール	
講演(単)	「史跡上ノ塚古墳・糠塚古墳」福井県若狭町令和三年度第一回歴史環境講座、若狭町脇袋古墳群	2021. 9
講演(単)	「埴輪が語る出雲と王権」古代出雲文化シンポジウム、雲南夢ネット木次局内スタジオ	2021. 11
講演(単)	「周防の大豪族降臨－天王森古墳出土の埴輪のかがやき－」スターピアくだまつ	2022. 9
講演(単)	「丹後三大古墳の時代」第150回埋蔵文化財セミナー、京都府埋蔵文化財調査研究センター、アグリセンター大宮	2022. 11
講演(単)	「西濃の古墳時代」岐阜県大垣市古代史講座、大垣市歴史民俗資料館	2023. 6・7
講演(単)	「現地説明会『上ノ塚古墳』」令和5年度福井県若狭町第一回歴史環境講座	2023. 9
講演(単)	「若狭の古墳の特色」令和五年度花園大学歴史博物館秋季企画展フォーラム	2023. 10
講演(単)	「あらためて問う。前方後円墳から何が語れるか？」向日市永守重信市民会館第二会議室	2023. 10
講演(単)	「松本古墳の埴輪と倭王権」福山市西部市民センター多目的室	2023. 12
講演(単)	「大王墓の埴輪」令和五年度世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の魅力を味わう市民講座、羽曳野市立陵南の森公民館	2023. 12
講演(単)	「王権の埴輪生産と古代吉備勢力」岡山シテイミュージアム4階講義室	2024. 1
講演(単)	「進む若狭・越前の古墳研究と近江の古墳」高島市歴史講演会、今津東コミュニティセンター	2024. 2
講演(単)	「日本海三大古墳が丹後に築かれた意味」京都を学ぶセミナー[丹後編]、京都学・歴彩館大ホール	2024. 7
講演(単)	「前方後円墳に何を読み取れるか」はびきの市民大学、LIC はびきの3階視聴覚室	2024. 8

講演(単)	「意外にすごい若狭の古墳」 パネラー、福井県立三方青年の家多目的ホール	2024. 10
講演(単)	「プレミアムな若狭町の歴史文化遺産の未来」 パネラー、リブラ若狭講堂	2024. 11
講演(単)	「継体大王を支えた若狭の大豪族の墓～下船塚古墳のかがやき～」 令和7年度第3回若狭町歴史環境講座（古墳文化分野）、若狭町歴史文化館講堂	2025. 11
講演(単)	「荒蒔古墳の形象埴輪ー葬具になったはにわ人」 歴史フォーラム「“穂積”の地の古墳を探る～星塚古墳・小路遺跡と荒蒔古墳～」なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟 1階大ホール	2025. 11
講演(共)	「講座 古墳の魅力、楽しむ方法を学ぼう！！」 坂井市、高棕コミュニティセンター大会議室	2025. 11
講演(単)	「木津川地域の後期・終末期首長墳～音乗谷古墳と石のカラト古墳～」木津川市ふれあい文化講座令和7年度第3回、加茂文化センター	2026. 1
講演(単)	「小浜市周辺の6世紀の古墳」 福井県立若狭歴史博物館主催わかはく講座「令和7年度若狭地方における発掘調査の成果」 福井県立若狭歴史博物館講堂	2026. 3
講演(共)	「大学がキャンパスを発掘する意味ー研究教育・文化遺産」 ハリス理化学館同志社ギャラリー、キャンパスの遺跡からみた京都	2026. 3